

かうしゅうゆく（衡州烏藥）ノ材ノ組織

滴ラ含ム大サ平均 $18 \times 7\mu$ ハアル

うるのれどけノ學名ハ *Parmelia praetervisa* Müll. ARG. メシテ吾國デハ通用シテ居ルガ *Parmelia tinctorum* DESPR. メ少シモ異ッタ所ガナイノデ前者ハ異名トシテ置ク程度ノモノノデアロウ、うめのれどけニヨク似テノレ混同サレ易キモノニなみがたうめのれどけ（新稱）ナルモノガアル、コノ地衣ハ歐洲ニ產スル *Parmelia olivaria* (A.CH.) HUE. (*P. oliviforme* Nybl.) ニヨク似テ居ルガ表面ニ白點ガナイノデ區別サレ又うめのれどけトハ表面ニ針芽ヲ全ク缺如シテ居リ波狀ニ屈曲セル邊緣ニ粉芽ヲ有スルノデ區別サル「アルカリ」液並ニ漂白粉溶液ニ對スル反應ハうめのれどけト全ク同一デ此なみがたうめのれどけノ學名ハ *Parmelia hyporysalia* WAIN. var. *cinerascens* WAIN. デアル（植物學雜誌第四百十一號歐文欄第四十七頁參照）

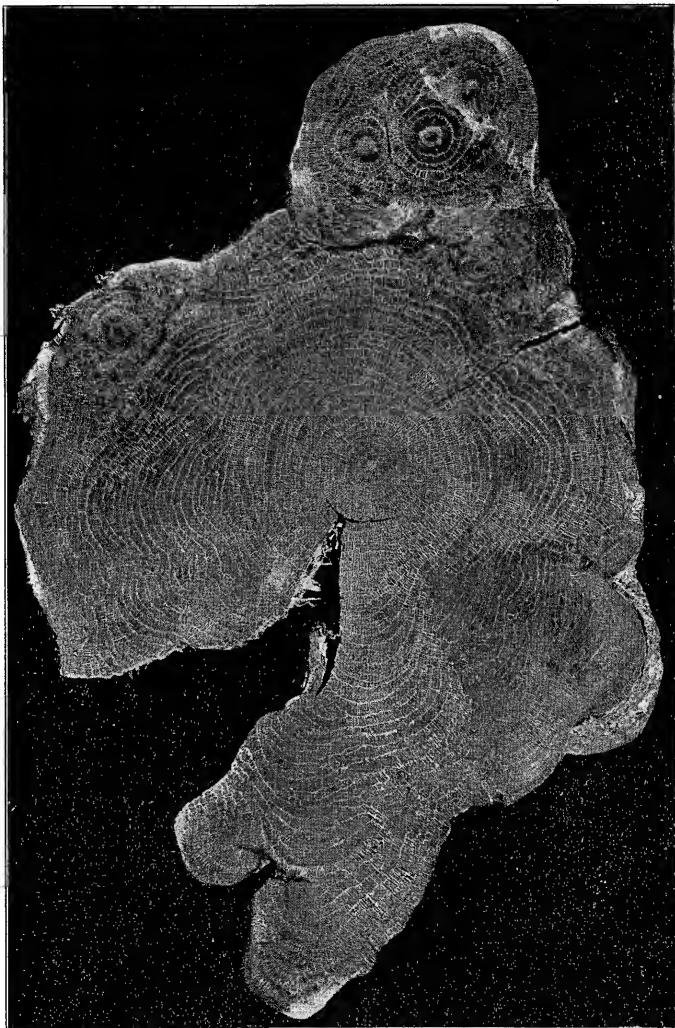
○かうしゅうゆく（衡州烏藥）ノ材ノ組織

かうしゅうゆく (*Coeculus laurifolius* DC.)*Makino delinat.*

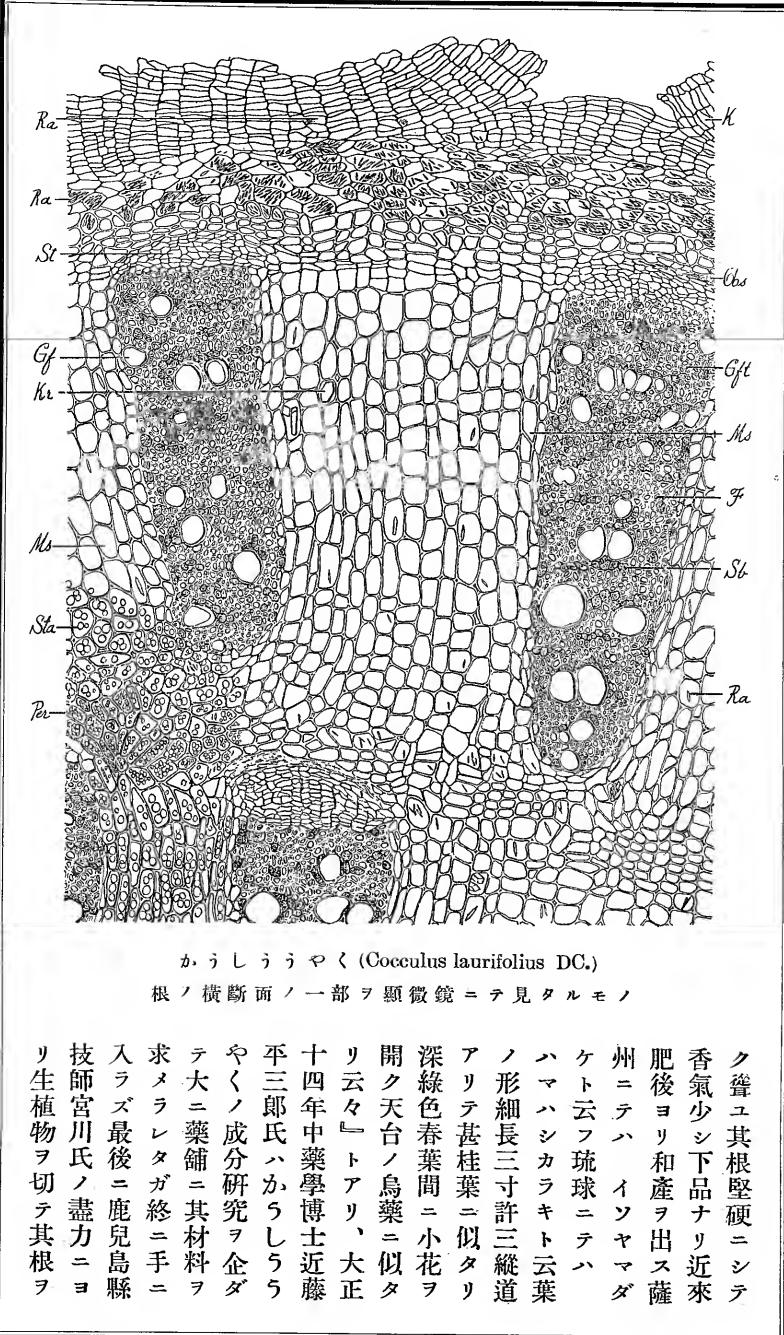
藥學士 藤田直市

本來烏藥ト云フ漢藥ハ昔時健胃藥トシ或ハ中風ニ用ヒ又霍亂ヲ治スルニ用タモノデアルガ其確實ナル効力ハ本日デハ今一度ヤリ直シテ研究シテ見ネバ分ラナイノデアル、此烏藥ハ普通ハ天台烏藥ト云フモノデ樟科ノ植物 *Lindera strichnifolia* VILL. ノ根デアル、其根ノ膨脹シテおつま芋ノ如キヲ括様ト云ヒ圓壘形ノ品ハ棒様（ボウザイ）ト稱シ劣等品トシテアル本草綱目啓蒙ニ『享保年中漢種二品渡ル天台烏藥ト衡州烏藥トナリ傳ヘ栽テ今花戸ニ多シ云々』トアリ又日用藥品考（文化七年）ニ『天台烏藥、衡州烏藥ノ

かうしゅうやく (Cocculus laurifolius DC.) の材の横断面



一品ヲ傳栽シモノ
アレドモ藥鋪ニ出
デス天台烏藥ハ根ノ本
連ナリ衡州烏藥ハシ末ハ
テ連珠ノ形ヲナサズ』
トアリ是ニ由テ之
ヲ觀レバ當時栽培
セル品ハ市中ノ販
賣品トハナラナカ
ツタヤウデアル
からしゅうやく即
Cocculus laurifolius DC. べヘ
ムベ科 (Menispermaceae) ノあ
をつタムベ科属ニ
屬シ本草綱目啓蒙
鳥藥ノ條ニ『衡州
ノ烏藥ハ形狀同シ
テ叢生セズシテ高



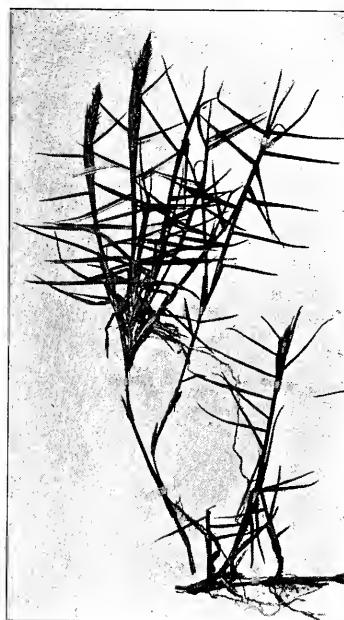
得ラレ僅ニ其目的ヲ達セラレタ又此標本一部ヲ支那ニ送リ彼地ニ搜索ヲ試シモ少クモ上海邊ニテハ之ヲ發見シ得ナカッタ、予モ亦此標本ノ片ワレヲ解剖學的ニ研究スル機會ニ接シ大ニ興味ヲ感ジタノデアル

ストラスブルガーフ植物學教科書ニ異常ノ第二次厚徑増育ヲ行フコト即最初ノ形成層ガ或時期ニ其作用ヲ中止シ韌皮部ノ外方ニ更ニ新ニ形成層ヲ生ジ之ヲ何回モ操返シテ同心性ノ圓ヲ幾ツモ作ルコトノ説明ニ於テ其例トシテまめ科ノ *Mucuna altissima* ノ材ノ横斷圖ヲ掲ゲテアルケレドモ其圖ハ誠ニ漠然タルモノデ隔靴搔痒ノ感ガアル、一體カヘル場合ノ説明ニハ自國ノ材料デヤル方ガ氣乘リノスルモノデ吾國ノ教師ヤ教科書ノ編輯者ハ此點ニ留意スルコトガ必要デアルト思フコレニハふぢ、きくぼく、やまごばう等ハ相當ニ役立ツ材料デアルガ此かうしうやくハ（寫眞圖參照）髓線ト維管束トハ實ニ判然ト區分セラレ僅ニ徑五「ミリメートル」位ノ細イモノデモ二三回ハ形成層ノ更生ヲヤツテ居ルカラ誠ニ都合ノヨイ材料デアル強テ缺點ヲ舉グレバ形成層ガ多少明瞭デナイ事デアル、今少シ詳細ニ説明シテ見ヤウ、前頁ニ掲ゲタ顯微圖ハかうしうやくノ根ノ横斷デ直徑大約七「ミリメートル」ノモノデアル、一番外ハ木栓デ十層内外ノ木栓細胞カラ出來テ居テ其膜ハ褐色ヲシテ暗褐色ノ内容物ト小針晶（Ra）ガアル、木栓ノ内側ハ多クハ觸線性ニ長イ細胞デ其細胞膜ハ薄ク澱粉ハ殆ドナクテ小針晶（Ra）ヲ澤山ニ持テ居ル、其内方ニ數層ノ膜ガ厚クテ孔紋（圖ニハ書入レテナイガ）ノ明瞭ナ細胞ガアル之ハ内鞘ニ相當スル所デ其細胞中ニ多クノ澱粉ガアリ又少數ノ小針晶ヲ持テ居ル、篩部（S）ハ一般ニ小サイモノデ更ニ其外部ニ押シツブサレタ篩部組織（Obs）ガ屢々存在スル、形成層輪ノ内デ一番外ノ維管束ノ間ノ所丈ヶハ稍明デアルケレド一般ニハ不明瞭ナモノデアル、導管部（Gt）デハ導管（Gt）ハ比較的小サク徑三十五μ位ノモノデ主ニ有縫孔紋導管デアル、ソシテ導管ノ近所カラ多クハ觸線ノ方向ニ連テ居テ褐色ノ内容物ガアツテ膜ノ薄イ細胞ガアル此細胞ハ縱斷面デ見ルト縱ニ長クナツテ居ル此他ハ橫斷面デハ多角形ニナツタ厚膜ノ細胞デアツテ縱斷面デ調ベルト小サナ有縫孔紋ヲ持タ纖維狀假導管ト斜ノ裂隙狀ノ孔紋ノアル真正ノ木纖維ト

海濱砂場ノおにしばニ三種アル

デアル、髓線 (Ms) ハ略長方形ノ細胞カラ出來テ居テ其細胞膜ガ少シ厚クテ孔紋ガヨク見エルソシテ十八 μ 位迄ノ澱粉粒ガアリ長サ約十八 μ 迄ノ小針晶ト三十五 μ 迄ノ大キナ柱狀結晶又ハ板狀結晶 (Kr) ガアル、導管部ノ内側ニ接スル所ハ其細胞膜ガ薄イ其次ニハ又内鞘 (Per) ガアツテ略七 μ 位ノ小澱粉粒ト少數ノ小針晶ガアル其内ハ又韌皮デ次ニ材部ガアリ之ヲ何回カ繰リ返シテ居ルソシテ中心ニハ髓ハナイノデアル枝幹デ根ト違フノハ中央ニ大キナ髓ノアル事其他ニハ一一番内側ノ内鞘ノ所デ篩部ノ外側ニ接シテ明カナ纖維束ガアル併シ第二回目以下ノ篩部ノ外側ニハ纖維束ハナイ即チ第一回目ノ内鞘ノ外側デ第二回目ノ形成層ガ出來タモノデアル其他ニハ大シテ異ル所ハナイ

○海濱砂場ノおにしばニ三種アル



おにしば

(Zoysia macrostachya FRANCHET
ET SAVATIER)東京帝國大學理學部植物學教室 理學士 本
田 正 次

おにしば (Zoysia macrostachya FRANCHET ET SAVATIER) ハ本州四國九州ノ海岸砂地ニ自生スルしばノ一種大形ノモノデ匍匐莖ハ長ク砂中ニ擴ガリ節々カラ根ヲ下シテ葉ハ普通ノしばヨリ剛ク尖リ莖ニ殆ンド直角ヲナシテ出テ居ル、夏ノ頃莖ノ先端ニ長橢圓形紫褐色ノ總狀花序ヲシタ花穗ヲ出シテ開花スルガ花梗ガ短ク一番上ノ葉鞘ハ總苞ノ様ナ形ヲシテ脹花穗ノ下部ヲ包ンデ居ルノデ普通ノしばノ